

新胃ろう手順

2008. 4.

<先に白湯をプッシュしてから、注入食を滴下する方法です>

- ① まずガス抜きをします。
(ボタン式の方は、専用チューブを接続し、ガス=空気を抜きます。
チューブ式の方は、蓋を開ければガスが抜けます。)
☆ 嘔吐防止のため！！
- ② 注入専用チューブを接続し、決められた白湯の量をシリンジ=注射器でプッシュします。
- ③ 食前薬がある場合、この時に注入してください。

1時間半後に、注入食を滴下します。
- ④ 注入食を微温湯で人肌程度になるまで温める。
- ⑤ 温まった注入食と栄養チューブ・ボタン式胃ろう専用のチューブを接続する。
☆ クレンメが閉まっているか確認すること！
- ⑥ 栄養チューブの空気を抜く。
(注入食の栄養剤を満たす)
- ⑦ 利用者の居室へ行き、体位を整える。
(35度程度にギャッチアップする)
- ⑧ 胃ろうのボタンと栄養チューブを接続する。
☆ ゆっくり差し込む。
☆ チューブ式の方は、直接接続してください。
- ⑨ 滴下を合わせる。
☆ 秒針と同じリズムで滴下する。(1分間に60滴)
- ⑩ およそ30分間隔で居室へ行き、滴下を確認する。
- ⑪ 注入食が終了後、クレンメを閉める。
- ⑫ 閉塞予防の為、白湯20ml注入する。
- ⑬ 薬があれば注入する。
☆ 白湯で薬を溶かし、注射器で吸ってから、胃ろうチューブに注入する。
- ⑭ 白湯20ml注入する。(薬がない場合は50ml注入してください。)
- ⑮ 食事後は、30分～1時間くらいは食道への逆流を防ぐ為に、ベッドは上げたままにしておく。
- ⑯ 使用後の栄養チューブは、流水でよくすすぎミルトンなどに1時間つけておく。
- ⑰ その後、流水でよくすすいでから乾燥させる。
☆ チューブ内にはミルトン液を満たしてください。
☆ 昼に白湯しかない場合は、薬を注入してから白湯をプッシュしてください。